



平成 25 年 9 月号



# 概況

最近の県内経済は、一部に一服感がみられるものの、全体としては持ち直しの動きが続いている。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は再びマイナスに転じた。自動車販売は届出車がプラスとなったものの、登録車はマイナスとなり、合計では7ヶ月連続のマイナスとなった。

住宅建設は分譲住宅が減少したものの、持家、貸家が増加し、全体では5ヶ月連続のプラスとなった。公共投資は国、独立行政法人等が減少したものの、県、市町村、地方公社・その他が増加し、3ヶ月連続のプラスとなった。

生産関連の動きをみると、鉱工業生産指数は前月比0.8%上昇の107.2となった。24年県産リンゴ販売は県外出荷量が大幅に増加したものの、県外市場販売額は幾分の増加にとどまった。八戸港水揚げは数量、金額とも大幅に減少した。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比0.01ポイント低下の0.70倍と幾分低下したものの、3ヶ月連続で0.7倍台と高水準を維持している。

**個人消費** 7月の**大型小売店販売額**(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比2.0%減と再びマイナスに転じた。業態別では百貨店が同2.4%減、スーパーが同1.9%減となった。7月の**自動車販売台数**は登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比5.7%減の5,713台と7ヶ月連続のマイナスとなった。登録車が同10.0%減と7ヶ月連続のマイナス、届出車は同0.4%増と2ヶ月連続のプラスとなった。

**住宅投資** 7月の**新設住宅着工戸数**は全体で前年同月比15.0%増の622戸と5ヶ月連続のプラスとなった。分譲住宅が同44.3%減となったものの、持家は同11.8%増、貸家は同56.5%増となった。

**公共投資** 7月の**公共工事請負額**は全体で前年同月比30.6%増の281億1,100万円と、3ヶ月連続のプラスとなった。市町村が同91.7%増、県が同13.8%増、地方公社・その他が同約30億円増となった。一方、国は同19.7%減、独立行政法人等は同72.3%減となった。

**一次産業** 農林水産省東北農政局の調査によると、**25年産水稲**の作柄(8月15日現在)は青森地帯、津軽地帯が「やや良」、南部・下北地帯が「平年並み」で県平均は「やや良」と見込まれる。7月の**24年県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比59.6%増となったものの、県外市場販売額は同1.3%増にとどまった。7月の**八戸港水揚げ**は数量が前年同月比45.1%減、金額が同31.4%減と、数量、金額とも大幅に減少した。

**生産活動** 6月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は前月比0.8%上昇の107.2となった。原指数では前年同月比2.6%上昇の105.9となった。パルプ・紙、金属製品などで低下したものの、化学が大幅に上昇したほか、電子部品・デバイス、電気機械でも上昇がみられた。

# 一 次 産 業

## 米

### 25 年産米の作柄予想は「やや良」

農林水産省東北農政局の調査によると、青森県の平成 25 年産水稻の県平均作柄(8 月 15 日現在)は「やや良」と見込まれる。出穂最盛期は平年より 1 日遅い 8 月 6 日となった。穂数は 5 月下旬から 6 月上旬にかけて気温が概ね平年並みで経過したことなどから「平年並み」となった。1 穂当たりもみ数は 7 月上旬に気温が概ね平年を上回って経過したことなどから「やや多い」と見込まれる。全もみ数は平年に比べ「やや多い」と見込まれる。また、登熟は 7 月下旬に日照時間が平年を下回ったものの、出穂期以降は高温・多照で順調に推移しているとみられることから「平年並み」と見込まれる。

作柄表示地帯別にみると、作柄は青森、津軽地帯が「やや良」、南部・下北地帯は「平年並み」と見込まれる。出穂最盛期は青森地帯が平年並み、津軽地帯は平年より 3 日、南部・下北地帯は 1 日早かった。全もみ数は青森地帯、津軽地帯が「やや多い」、南部・下北地帯が「やや少ない」、登熟は青森地帯、津軽地帯が「平年並み」、南部・下北地帯が「やや良」と見込まれる。

平成25年産水稻の作柄概況(8月15日現在)

作柄表示地帯	出穂最盛期			作柄の良否	(平年比較)			
	本年	対平年差	対前年差		穂数の多少	1穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
<b>県平均</b>	<b>8月6日</b>	<b>1日早い</b>	<b>2日早い</b>	<b>やや良</b>	<b>平年並み</b>	<b>やや多い</b>	<b>やや多い</b>	<b>平年並み</b>
青森地帯	8月9日	平年並み	2日早い	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
津軽地帯	8月4日	3日早い	3日早い	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み
南部・下北地帯	8月8日	1日早い	2日早い	平年並み	少ない	やや多い	やや少ない	やや良

資料出所：農林水産省東北農政局

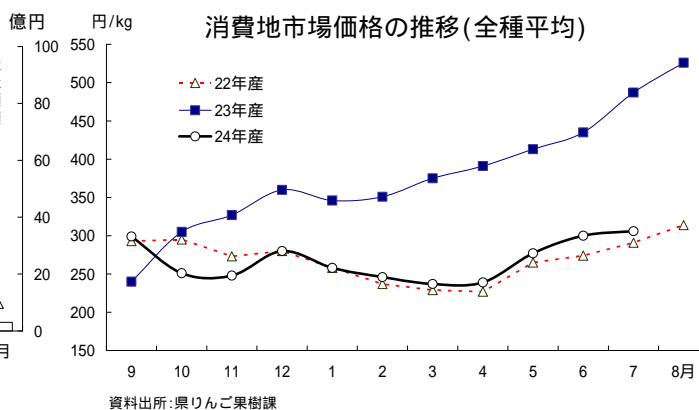
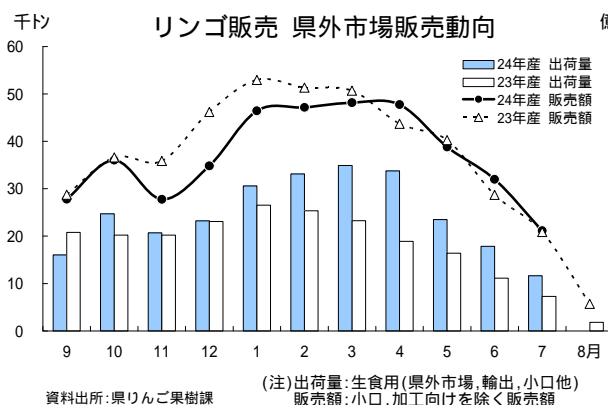
(注) 出穂最盛期とは、出穂済み面積割合が50%に達した期日。

## りんご

### 県外市場販売額、前年同月比 1.3%増

24 年県産りんご販売、7 月の県外出荷量は前年同月比 59.6%増の 1 万 1,639 トンとなった。これは前 3 ヶ年の 7 月平均出荷量を 11.2%上回る水準である。価格面をみると、消費地市場価格は「ふじ」が前年同月比 32.5%低下の 341 円/kg、「王林」が同 43.7%低下の 213 円/kg、「ジョナゴールド」が同 44.5%低下の 276 円/kg となり、合計では前年同月比 31.2%低下、前 3 ヶ年比較で 37.2%低下の 306 円/kg となった。この結果、県外市場販売額は前年同月比 1.3%増、前 3 ヶ年比較では 5.5%減の 35 億 25 百万円となった。

県産りんごは県外出荷量が前年比大幅に増加しているものの、消費地市場価格が前年を大幅に下回って推移しており、県外市場販売額はほぼ前年並みにとどまった。

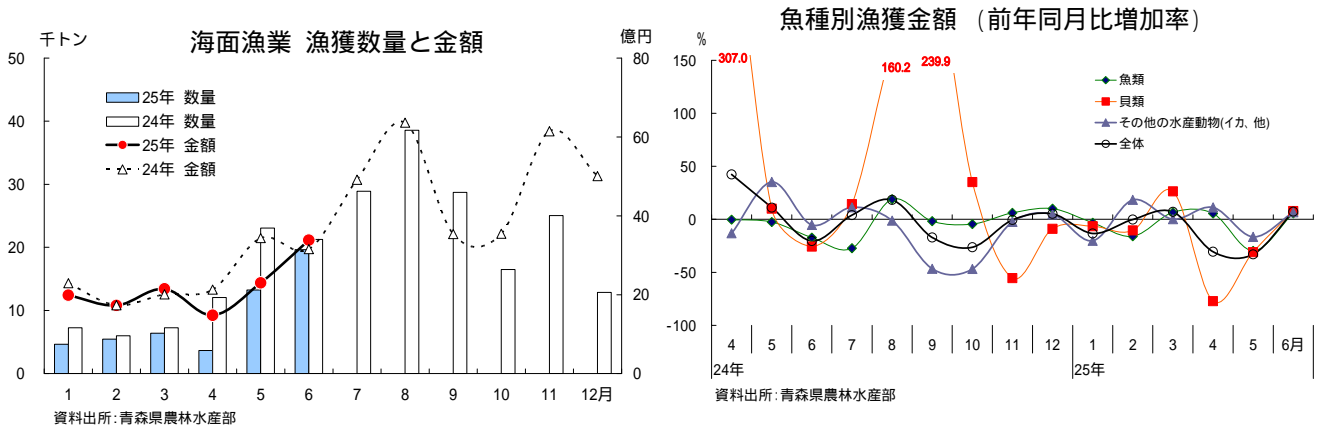


## 海面漁業

### 漁獲金額前年同月比 7.2%増、数量はマイナス

6月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比 7.6%減の 1万 9,649 トン、漁獲金額は同 7.2%増の 33億 8,357 万円となった。

主な魚種別に見ると、「魚類」はマイワシ、タラ、スケトウダラなどが豊漁だったことなどから数量が前年同月比 91.8%増の 4,674 トンとなったものの、比較的単価が低い魚種のウェイトが高かったことから金額は同 5.6%増の 9億 4,705 万円にとどまった。「貝類」はホタテガイの成貝が増加したものの、半成貝が落ち込み、数量が同 23.2%減の 1万 3,152 トンとなった。一方、金額はホタテガイの価格上昇から同 7.8%増の 18億 7,833 万円となった。イカなどの「その他の水産動物」はアカイカ(海外)が全減となったものの、スルメイカの水揚げが好調で、数量が同 8.3%増の 1,437 トン、金額が同 6.6%増の 4億 9,542 万円となった。

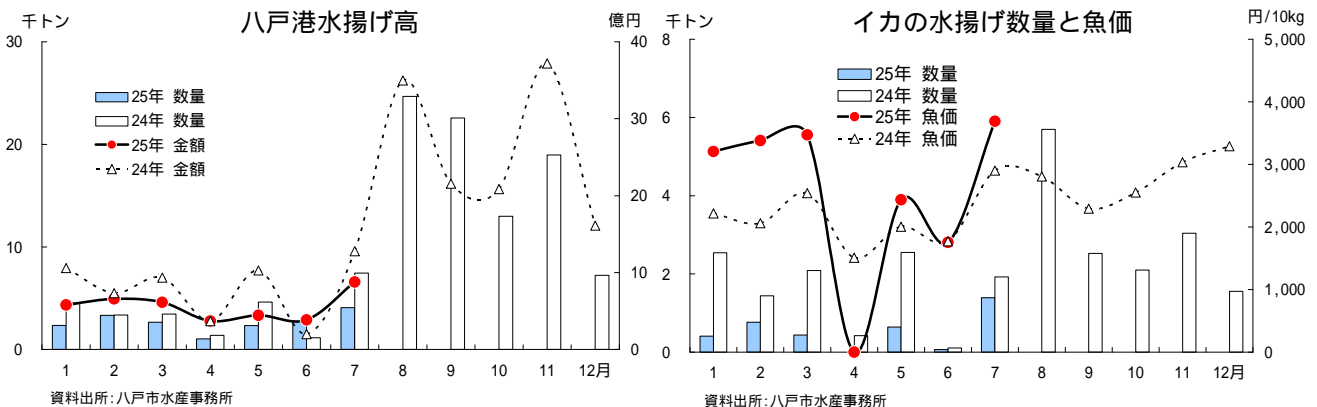


## 八戸港水揚げ

### 水揚げ数量、金額とも前年同月比大幅減

7月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比 45.1%減の 4,083 トン、金額が同 31.4%減の 8億 7,656 万円と、数量、金額とも大幅に減少した。

イカ釣り漁は船凍スルメイカの水揚げが落ち込んだほか、近海スルメイカも前年を下回り、数量が同 27.6%減の 1,390 トン、金額は同 7.9%減の 5億 1,297 万円となった。平均単価は同 27.2%上昇の 3,690 円/10kg となった。大中型旋網漁はサバが好調だったものの、スルメイカ、マイワシが落ち込み、数量が同 47.0%減の 2,142 トン、金額が同 56.7%減の 1億 8,192 万円となった。機船底引き網漁はスケトウダラの水揚げにより数量が同約 7 倍の 97 トン、金額が同約 8.5 倍の 1,651 万円となった。



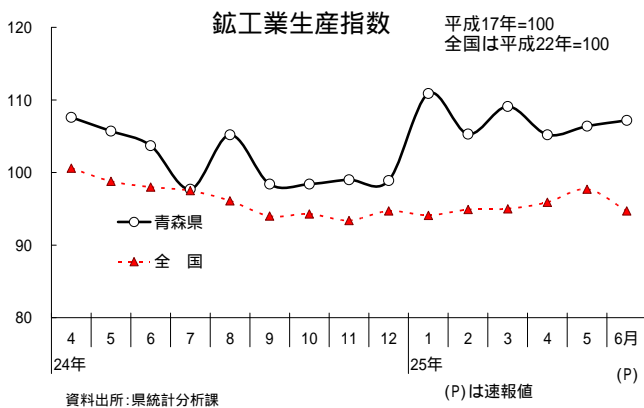
## 二 次 産 業

### 鉱工業生産

### 鉱工業生産指数、前月比0.8%上昇の107.2

6月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は前月比0.8%上昇の107.2となった。主要6業種をみると、一般機械が同1.0%、電子部品・デバイスが同3.6%それぞれ上昇した。一方、ウェイトの高い食料品は同0.1%、鉄鋼は同0.6%、パルプ・紙は同38.0%、電気機械が同5.7%それぞれ低下した。このほかでは化学が同189.2%上昇、金属製品は同32.1%、窯業・土石は同6.5%それぞれ低下した。原指数では前年同月比2.6%上昇の105.9となった。

当月はパルプ・紙、金属製品などで低下したものの、化学が大幅に上昇したほか、電子部品・デバイス、一般機械なども上昇がみられた。生産指数は6ヶ月連続で100を超えており、全体としては高めの生産水準を維持している。



業 種 ( )内は一万分比ウェイト	季節調整済指数		原 指 数	
	平成17年 =100	前月比 (%)	平成17年 =100	前年同月 比(%)
鉱 工 業 (10000.0)	107.2	0.8	105.9	2.6
食 料 品 (2249.0)	95.3	0.1	93.9	2.2
一 般 機 械 (1254.7)	136.4	1.0	150.1	17.9
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス (1106.8)	122.5	3.6	118.3	13.3
鉄 鋼 (1008.6)	110.0	0.6	105.7	16.2
パ ル プ ・ 紙 (807.5)	50.5	38.0	41.7	42.4
電 気 機 械 (550.4)	156.7	5.7	163.8	19.0

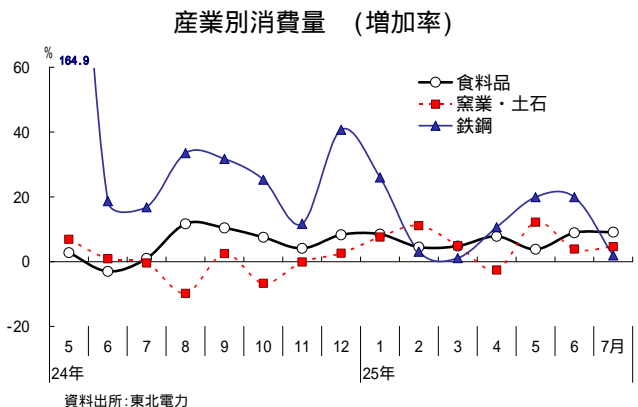
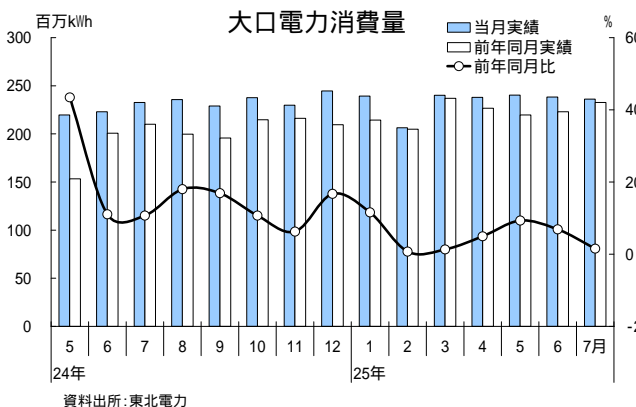
資料出所: 県統計分析課

### 大口電力

### 大口電力消費量、18ヶ月連続のプラス

7月の県内大口電力消費量は、前年同月比1.5%増の2億3,625万kWhとなり、18ヶ月連続のプラスとなった。うち製造業は同2.9%増の1億7,237万kWhとなった。製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、パルプ・紙が同24.3%増、食料品が同9.1%増、機械が同6.0%増、窯業・土石が同4.6%増、消費ウェイトの高い鉄鋼が同1.9%増となった。一方、化学は同7.8%減、非鉄金属は同5.9%減となった。

県内大口電力消費量は鉄鋼、食料品、窯業・土石などが前年を上回って推移しており、全体的に堅調な操業が続いていることがうかがわれる。

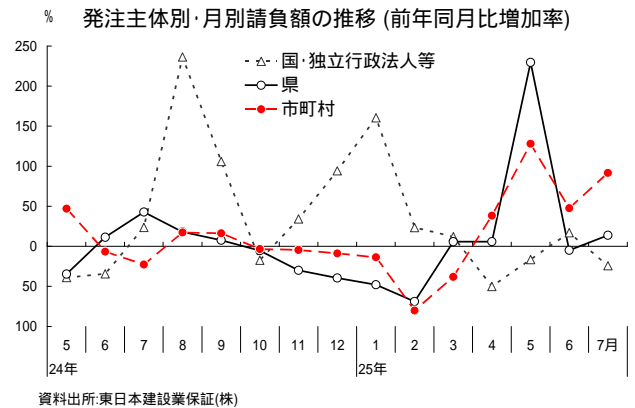
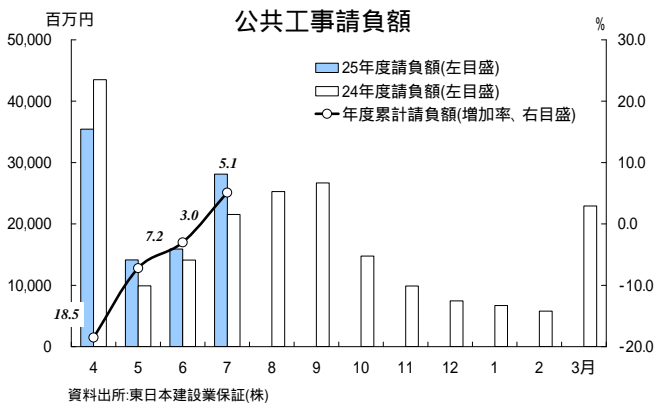


## 公共工事

### 前年同月比 30.6%増、市町村が大幅増加

7月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 30.6%増の 281 億 1,100 万円となった。当月の請負額は、市町村が十和田市、五戸町、弘前市、三戸町などの大幅な増加により同 91.7%増の 90 億 2,500 万円、県が県土整備部関連(中南、三八地域県民局など)、農林水産部関連(下北、東青地域県民局など)の増加により同 13.8%増の 75 億 7,300 万円とそれぞれ増加した。また、地方公社・その他はつがる西北五広域連合、青森地域広域消防事務組合などで大幅に増加し、同約 30 億円増加した。一方、国は防衛省、国土交通省の減少により同 19.7%減の 52 億 6,200 万円、独立行政法人等は弘前大学関連の減少により、同 72.3%減の 1 億 7,200 万円となった。

当月は市町村などの大幅な増加が全体を押し上げ、公共工事請負額は 3 ヶ月連続のプラスとなった。なお、今年度の累計請負額(4~7月)は前年同期比 5.1%増とプラスに転じた。

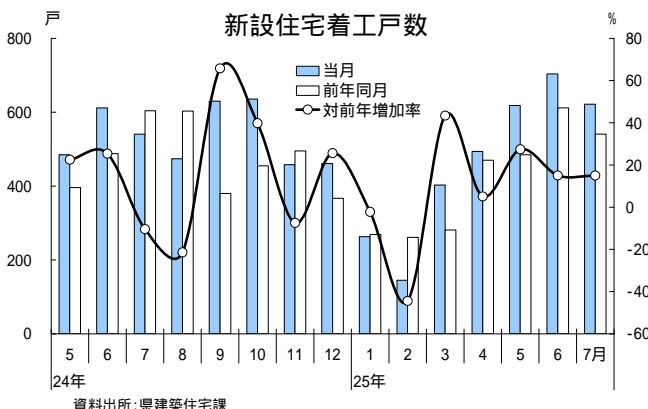


## 住宅着工

### 5 ヶ月連続のプラス、前年同月比 15.0%増

7月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 15.0%増の 622 戸と 5 ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別では、持家が同 11.8%増、貸家が同 56.5%増、分譲住宅は同 44.3%減となった。地域別にみると、青森市、五所川原市、三沢市で減少したものの、他の市部、郡部は増加した。持家は青森市、黒石市、十和田市、つがる市、平川市で増加した。貸家は弘前市で同 3.5 倍となったほか、青森市、むつ市などで増加した。分譲住宅は弘前市、八戸市、郡部で増加したものの、青森市で大幅に減少した。

県内の住宅着工は分譲住宅が落ち込んだものの、貸家が大幅に増加したほか、持家が 5 ヶ月連続で 2 ケタの伸びとなり全体を押し上げた。今年の住宅着工は消費税引き上げ(予定)前の駆け込み需要もうかがわれ、前年を上回るペースで推移している。



### 利用関係別戸数

(単位:戸,%)

	25年 7月	24年 7月	前年 同月比
持家	397	355	11.8
貸家	180	115	56.5
給与住宅	6	1	500.0
分譲住宅	39	70	44.3
総戸数	622	541	15.0

資料出所:県建築住宅課

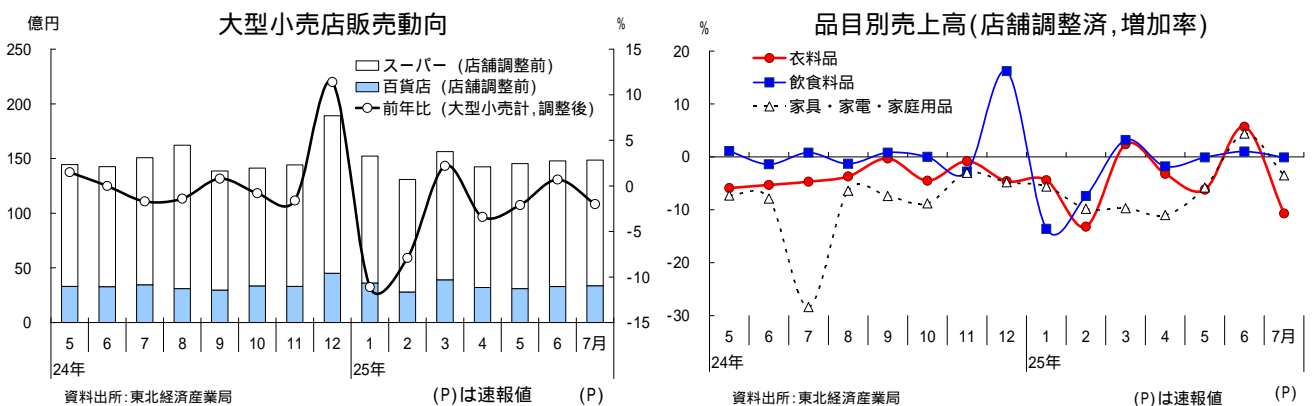
# 三次産業

## 大型小売店販売

### 再びマイナス、前年同月比 2.0%減

7月の県内大型小売店販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比 2.0%減と再びマイナスに転じた。業態別では百貨店が同 2.4%減、スーパーが同 1.9%減となった。品目別では、衣料品が同 10.7%減、ウェイトの高い飲食料品が同 0.1%減、家具・家電・家庭用品が同 3.5%減、身の回り品が同 10.0%減となった。

当月は上旬の気温が高かったものの、後半は低めに推移し、梅雨が長引いた。また、日曜日が前年に比べ1日少なかったことも影響し、全体に鈍い動きとなった。衣料品は夏物衣料が不振であった。飲食料品は中元ギフトや飲料などの動きが鈍かった。家具・家電・家庭用品は家庭用品で動きがみられたものの、家具、家電が不振であった。



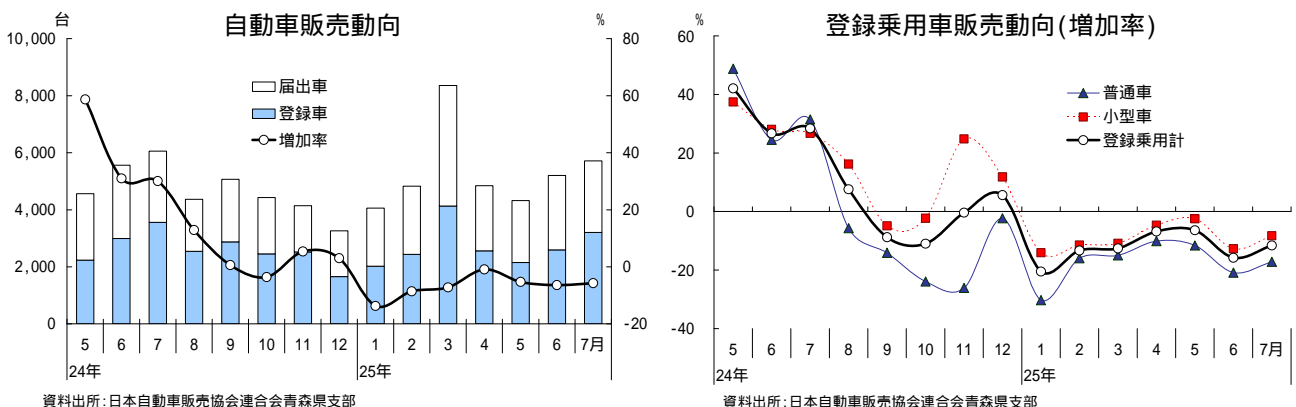
## 自動車販売

### 前年同月比 5.7%減、7ヶ月連続のマイナス

7月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比 5.7%減の 5,713 台と7ヶ月連続のマイナスとなった。

内訳別にみると、登録車は普通乗用車が同 17.2%減、小型乗用車が同 8.3%減、貨物車が同 5.6%減となり、登録車合計では同 10.0%減と7ヶ月連続のマイナスとなった。届出車は貨物車が同 2.3%減となったものの、乗用車は同 1.3%増となり、届出車合計では同 0.4%増と2ヶ月連続のプラスとなった。

届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同 11.6%減となり、全体では同 6.7%減と7ヶ月連続のマイナスとなった。

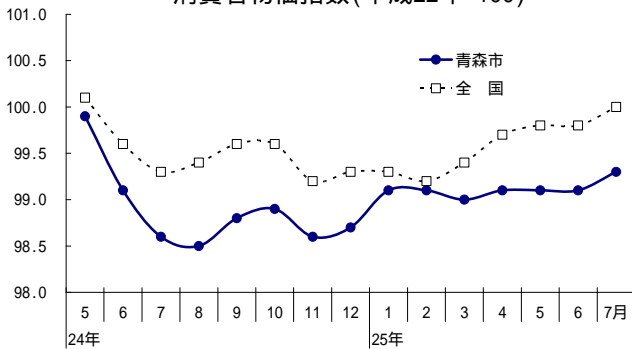


消費者物価指数

前月比 0.2%上昇、前年同月比 0.6%上昇の 99.3

7月の青森市の消費者物価指数(平成22年=100)は前月比0.2%上昇、前年同月比0.6%上昇の99.3となった。主要費目別に前月と比べると、「光熱・水道」が灯油、電気代などの値上がりにより1.0%、「食料」が生鮮野菜などの値上がりにより0.5%、「交通・通信」がガソリンなど自動車等関係費の値上がりにより0.5%上昇した。一方、「被服及び履物」は衣類、履物類、シャツ・セーター類などの値下がりにより2.7%下落した。前年同月との比較では「光熱・水道」(4.9%)、「交通・通信」(2.9%)、「家具・家事用品」(4.3%)、「保健医療」(1.5%)などの変動が大きかった。なお、「生鮮食品を除く総合指数」は前月比横ばい、前年同月比0.6%上昇の99.5となった。

消費者物価指数(平成22年=100)



資料出所: 県統計分析課

費目別指数の動き(平成25年7月)

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	99.3	0.2	0.6
食 料	96.9	0.5	0.2
住 居	98.1	0.1	0.1
光熱・水道	111.8	1.0	4.9
家具・家事用品	89.3	0.2	4.3
被服及び履物	99.4	2.7	1.4
保健医療	97.6	0.4	1.5
交通・通信	103.4	0.5	2.9
教 育	96.8	0.0	0.1
教養娯楽	92.2	0.3	1.1
語 雑 費	104.0	0.1	0.4

資料出所: 県統計分析課

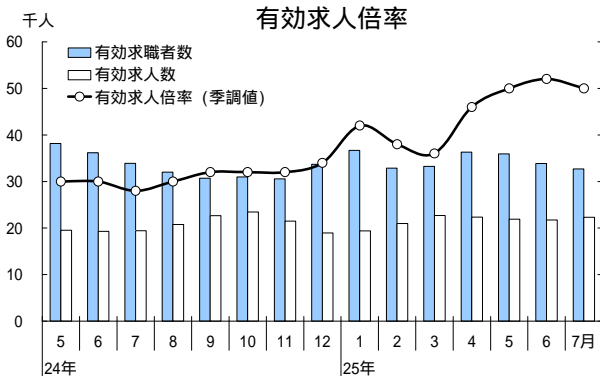
雇用動向

有効求人倍率 3ヶ月連続で 0.7 倍台

7月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比14.9%増の2万2,326人、有効求職者数は同3.6%減の3万2,675人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.01ポイント低下の0.70倍となった。新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比15.0%増、臨時・季節求人数が同4.0%増、パート求人数が同15.3%増となり、全数では同13.8%増となった。主要産業別の新規求人動向ではパルプ・紙、電子部品・デバイスなどの製造業や宿泊業などで減少がみられたものの、情報通信業、小売業、飲食サービス業などで増加した。

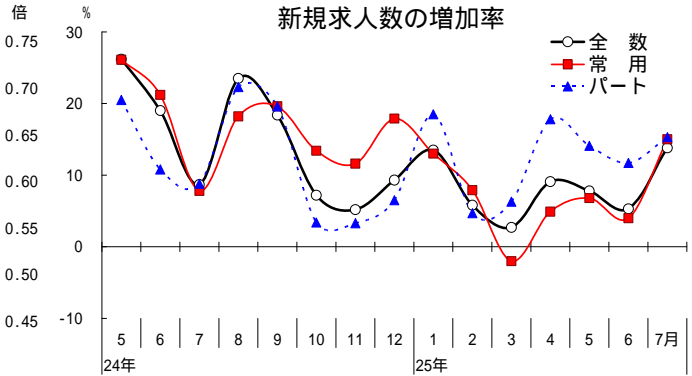
県内の雇用状況は有効求人倍率が3ヶ月連続で0.7倍台と高水準を維持しており、県内全域で雇用状況の改善が続いている。

有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局



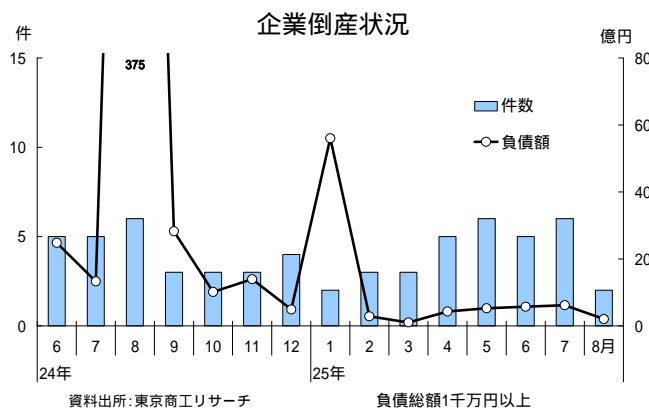
## 企業倒産

### 倒産件数、29ヶ月連続で1ケタ台

8月の県内企業倒産は、件数が前年同月比4件減の2件、負債総額は同373億900万円減の2億500万円となった。前月比では件数が4件減、負債総額は4億1,500万円減となった。

倒産の内訳をみると、業種別では建設業、サービス業が各1件となった。地域別では八戸市、五所川原市が各1件となった。倒産要因は過小資本、販売不振が各1件となった。

当月の県内企業倒産は、件数が29ヶ月連続で1ケタ台にとどまった。3月末で金融円滑化法が終了したものの、返済猶予等の金融支援継続の動きなどから、全体としては小康状態が続いている。



### 業種別・原因別件数 (平成25年8月)

業種	件数
一次産業・鉱業	
建設業	1
製造業	
卸売業	
小売業	
不動産業	
運輸・通信業	
サービス業ほか	1
合計	2

原因	件数
放漫経営	
過小資本	1
他社倒産の余波	
既往のシワ寄せ	
信用低下	
販売不振	1
売掛金回収難	
在庫状況悪化	
設備投資過大	
その他	
合計	2

資料出所: 東京商工リサーチ  
(負債総額1千万円以上)

## 金融動向

### 6月末の貸出約定金利、総合で1.745%

6月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比0.6%増の4兆8,018億円、貸出金は同0.1%増の2兆6,179億円となった。

6月の県内金融機関の貸出約定平均金利(銀行・信用金庫の加重平均)は、月末水準で長期金利が1.713%、短期金利が2.324%、総合で1.745%となった。前月比で長期金利が0.007ポイント、短期金利0.015ポイント低下し、総合では0.006ポイント低下した。長期金利はこのところ低下が続いているが、短期金利は一進一退の動きとなっている。

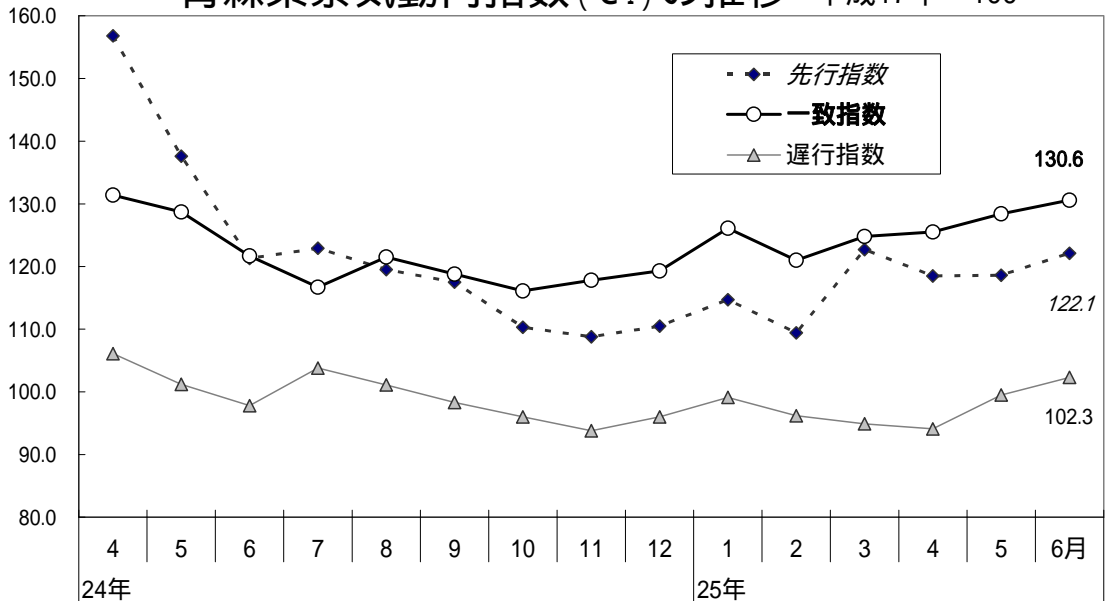
### 貸出約定金利の前月比推移

	総合	(%ポイント)	
		長期	短期
24年 4-6	0.039	0.045	0.153
7-9	0.013	0.015	0.044
10-12	0.017	0.018	0.033
25年 1-3	0.052	0.047	0.108
4-6	0.039	0.044	0.142
25年 3	0.030	0.026	0.109
4	0.005	0.006	0.068
5	0.028	0.031	0.089
6	0.006	0.007	0.015
6月末水準(%)	1.745%	1.713%	2.324%

資料出所: 日本銀行青森支店

# 青森県景気動向指数

青森県景気動向指数(CI)の推移 平成17年 = 100



資料出所: 県統計分析課

## 一致指数 採用系列の寄与度

上段: 寄与度がプラスを、マイナスを で表  
下段: 寄与度

採用系列名	25年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
1. 大型小売店販売額(既存店)	1.57	1.33	2.66	2.47	0.51	1.18
2. 旅行取扱高	2.08	0.22	0.35	2.48	0.03	0.04
3. 鉱工業生産指数	3.29	1.49	1.01	1.07	0.33	0.22
4. 大口電力使用量	0.24	2.70	1.02	2.69	0.37	0.24
5. 有効求人倍率(全数)	2.70	1.67	0.92	1.96	1.24	0.44
6. 輸入通関実績(八戸港)	0.94	0.72	0.32	0.47	0.58	0.55
7. 東北自動車道IC利用台数	0.38	1.10	0.06	2.53	0.95	0.39

資料出所: 県統計分析課

## 景気動向指数(CI: Composite Index)とは

1. 前月と比較した採用系列の変化量を合成し、基準年度を100として指数化したもので、景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標である。CIには次の3指数がある。

- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の動きの予測に利用
- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状把握に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから事後的な確認に利用

2. CIは景気変動の大きさ(景気の山の高さや谷の深さ)やテンポ(景気の拡張や後退の勢い)を測定する。CIが上昇している時が景気の拡張期(好況)であり、低下している時が景気の後退期(不況)である。

## 国内景気

### 概況

国内景気は、着実に持ち直しており、自律的回復に向けた動きもみられる。個人消費は持ち直している。生産は緩やかに増加している。輸出は持ち直しの動きがみられる。貿易・サービス収支の赤字は減少傾向となっている。住宅建設は増加している。消費者物価はこのところエネルギーを中心に上昇しており、それを除いた基調としては横ばいとなっている。雇用情勢は改善している。

#### 大型小売店販売（既存店ベース）

##### - 再びマイナス、前年同月比 1.6%減 -

7月の大型小売店販売は前年同月比 1.6%減と再びマイナスに転じた。業態別にみると、百貨店が同 2.2%減、スーパーが同 1.2%減となった。商品別にみると、衣料品が同 6.1%減、その他商品が同 1.2%減、飲食料品は同 0.3%増となった。

#### 住宅建設

##### - 11ヶ月連続のプラス -

7月の新設住宅着工戸数は前年同月比 12.0%増の 8万 4,459戸と 11ヶ月連続のプラスとなった。利用関係別にみると、持家が同 11.1%増と 11ヶ月連続、貸家が同 19.4%増と 5ヶ月連続、分譲住宅が同 4.3%増と 3ヶ月連続のそれぞれプラスとなった。

#### 企業倒産

##### - 負債総額、7月としては過去 20年間で最少 -

7月の企業倒産は、件数が前年同月比 0.1%減の 1,025件、負債総額は同 72.4%減の 1,996億円となった。倒産件数はほぼ横ばいながら 9ヶ月連続で前年同月を下回った。負債総額は 1,000億円の大型倒産がなく、7月としては過去 20年間で最少となった。

#### 為替動向

##### - 8月末終値 98円 05銭 -

7月の東京為替市場は 98円半ばでスタート。上旬は日経平均株価やアジアの株価指数下落で 96円半ばまでリスク回避の円買いが進んだ。中旬以降は米国の長期金利上昇で日米金利差拡大を見込んだ円売りなどから一時 99円台まで円安が進む一方、エジプト、シリアの中東情勢への懸念などからリスク回避の円買いもみられ、97~98円台での動きが続いた。月末終値は 98円 05銭。

#### 鉱工業生産指数

##### - 前月比 3.2%上昇の 97.7 -

7月の鉱工業生産指数は前月比 3.2%上昇の 97.7(季節調整値)となった。はん用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業等が上昇に寄与。品目別ではLSI型半導体集積回路(MRI)、デジタル伝送装置等であった。なお、生産予測調査によると、8月は情報通信機械工業、電子部品・デバイス工業等の上昇により当月比 0.2%上昇の予測。

#### 新車販売（除く軽自動車）

##### 4ヶ月連続マイナス、前年同月比 6.4%減

8月の国内新車販売は前年同月比 6.4%減の 21万 7,411台と 4ヶ月連続のマイナスとなった。内訳別では、乗用車が同 7.9%減、貨物車は同 4.1%増となった。乗用車は普通乗用車が同 5.7%減と 4ヶ月連続、小型乗用車は同 9.8%減と 8ヶ月連続のマイナスとなった。

#### 完全失業率

##### 前月比 0.1ポイント低下の 3.8%

7月の完全失業率は前月比 0.1ポイント低下の 3.8%となった。完全失業者数は前年同月比 33万人減の 255万人となり、38ヶ月連続で減少した。求職理由別にみると、自己都合が同 7万人減の 97万人、勤め先や事業の都合が同 17万人減の 55万人などとなった。

#### 消費者物価指数

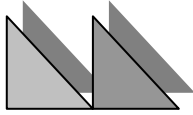
##### - 前月比 0.2%上昇の 100.0 -

7月の全国消費者物価指数(2010年=100)は前月比 0.2%上昇、前年同月比 0.7%上昇の 100.0となった。前月に比べ被服及び履物が下落したものの、食料、交通・通信、光熱・水道などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は前月比 0.1%上昇、前年同月比 0.7%上昇の 100.0となった。

#### 国際収支

##### - 経常収支、黒字幅縮小 -

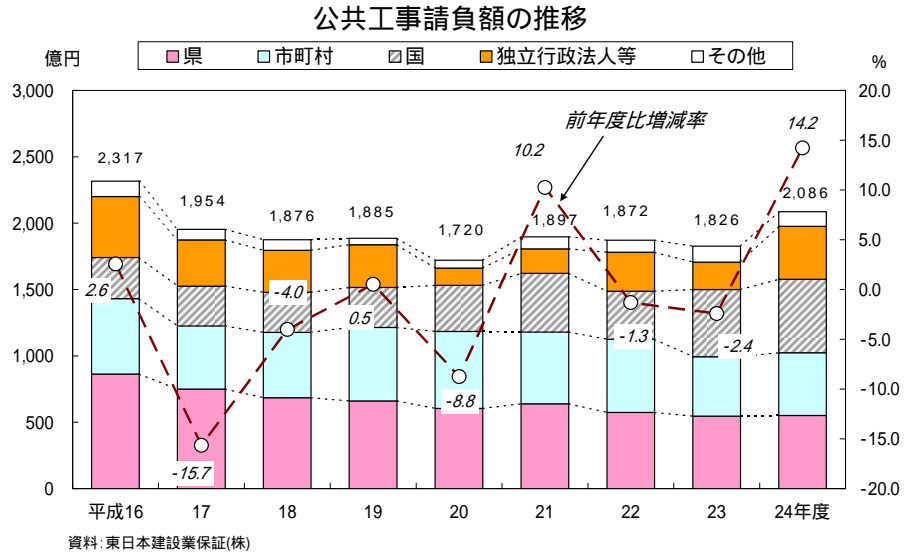
7月の経常収支額は黒字幅が縮小し、前年同月比 12.9%減の 5,773億円となった。所得収支の黒字幅が拡大し、サービス収支の赤字幅が縮小したものの、貿易収支の赤字幅が拡大し、経常移転収支の赤字幅はほぼ横ばいとなった。内訳は、所得収支が 1兆 7,938億円の黒字、一方、貿易収支は 9,433億円、サービス収支は 1,965億円、経常移転収支は 767億円のそれぞれ赤字となった。



# 今月の統計

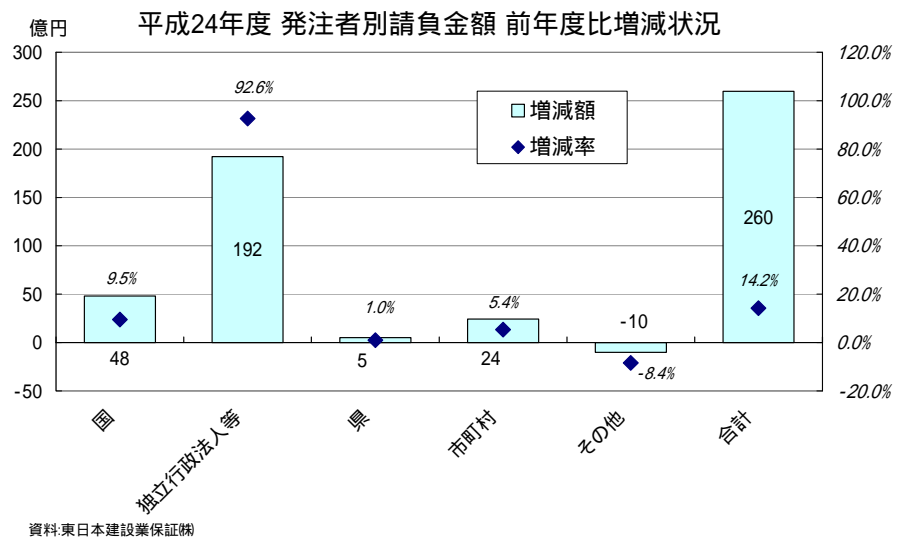
## 平成 24 年度の県内公共工事請負額

**東** 日本建設業保証(株)青森支店の「青森県内の公共工事の動向」によると、平成 24 年度の県内公共工事請負額は前年度比 14.2% 増の 2,086 億 1,800 万円と大幅に増加し、3 年ぶりのプラスとなった。平成 16 年度以降の請負額の推移をみると、平成 17 年度に



前年度比 15.7% 減と大幅に減少し 2,000 億円を割り込み、平成 20 年度にはリーマンショックの影響などから同 8.8% 減と 1,720 億円に落ち込んだ。21 年度以降は再び 1,800 億円台に回復し、24 年度は北海道新幹線関連工事による独立行政法人等の大幅な増加が全体を押し上げ、8 年ぶりに 2,000 億円台を上回った。

**平** 成 24 年度の県内公共工事請負額を発注主体別にみると、独立行政法人等が北海道新幹線関連工事や弘前大学関連の大幅な増加により前年度比 92.6% 増(192 億 1,600 万円増)の 399 億 6,400 万円となった。国は防衛省、農林水産省で減少したものの、国土交通省などの増加により同 9.5% 増(48 億 1,600 万円増)の 552 億 9,900 万円となった。ウエートの高い県は県土整備部、農林水産部で幾分増加がみられ、同 1.0% 増(5 億 2,700 万円増)の 550 億 7,400 万円、市町村は三沢市、つがる市などで減少したものの、青森市、弘前市、八戸市、五所川原市などで増加し、同 5.4% 増(24 億 2,300 万円増)の 473 億 2,000 万円となった。



県内

7日 県内企業の倒産リスク、幾分悪化

帝国データバンクが発表した県内企業の倒産予測値分析調査結果によると、「倒産リスクが高い」とした企業の割合は前年同期調査比 2.4 ポイント増の 35.9%となった。

県立小中学校の耐震化率 91.8%

県教育委員会が発表した 4 月 1 日時点の県内公立学校施設の耐震改修状況によると、小中学校の校舎や体育館など全 1,679 棟の耐震化率は前年度比 2.3 ポイント上昇の 91.8%となり、全国平均を 2.9 ポイント上回った。

10日 福士加代子が世界選手権女子マラソンで銅メダル

モスクワで開催された陸上の第 14 回世界選手権で本県出身の福士加代子(板柳町)が女子マラソンで 3 位に入り、銅メダルを獲得した。

21日 2013 年産県産リンゴの予想収穫量 43 万 900 トン

県の「攻めの農林水産業」推進本部の発表によると、2013 年産県産リンゴの予想収穫量(8 月 1 日現在)は、前年産収穫実績を 1 万 5,100 トン下回る 43 万 900 トンと推計。

27日 全国学力テスト、本県は全科目で全国平均を上回る

文部科学省が小学校 6 年と中学 3 年を対象に、4 月に実施した 2013 年度全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)の公表結果によると、本県は全科目で全国平均を上回った。また、小学校は国語 A で 2 位、国語 B で 4 位、算数 A で 3 位となった。

国内

5日 2013 年度の国内設備投資 10.3%増

日本政策投資銀行が発表した 2013 年度の設備投資計画調査によると、全産業の国内設備投資計画額は前年度比 10.3%増の 15 兆 9,454 億円となった。製造業は同 10.6%増の 5 兆 8,190 億円、非製造業は同 10.1%増の 10 兆 1,264 億円となった。

8日 街角景気、4 ヶ月連続で低下

内閣府が発表した 7 月の景気ウォッチャー調査によると、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数は前月比 0.7 ポイント低下の 52.3 となり、4 ヶ月連続で低下した。

9日 国の借金、1 千兆円を突破

財務省の発表によると、国債と借入金、政府短期証券を合計した国の 6 月末時点の借金残高は 1,008 兆 6,281 億円となり、初めて 1 千兆円を突破した。

12日 4-6 月期の GDP 年率 2.6%増

内閣府が発表した 2013 年 4-6 月期の国内総生産(GDP)速報値は、物価変動の影響を除いた実質で前期比 0.6%増、年率換算で 2.6%増となり、3・四半期連続のプラス成長となった。

15日 月例報告、物価は「デフレ状況ではなくなりつつある」

甘利経済再生担当相は 8 月の月例経済報告を関係閣僚会議に提出し、物価動向について「デフレ状況ではなくなりつつある」とし、デフレ脱却へ進んでいる認識を示した。景気の基調判断については「着実に持ち直しており、自立的回復に向けた動きもみられる」とし、前月の表現を据え置いた。

19日 7 月の貿易赤字 1 兆 240 億円

財務省が発表した 7 月貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は 1 兆 240 億円の赤字となり、7 月としては比較可能な 1979 年以降最大の赤字額となった。

28日 総人口 4 年連続で減少

総務省が発表した住民基本台帳に基づく 3 月末時点の人口動態調査によると、日本人の総人口は前年同期比 0.21%減の 1 億 2,639 万 3,679 人と 4 年連続で減少した。また、15~64 歳の生産年齢人口は 7,895 万 7,764 人となり、8,000 万人を割り込んだ。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日証券発行高 (平均残高・億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2010年 = 100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	114.6	1,060,741		211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	110.7	1,093,519		209,511
2009(H21)	764,627	569,486	428,567	1.655	15,480	69,301	86.5	788,410		197,758
2010(H22)	771,516	578,485	420,417	1.551	13,321	71,608	100.0	813,126		195,791
2011(H23)	792,805	598,688	425,858	1.452	12,734	35,929	97.2	834,117		195,933
2012(H24)	809,455	613,690	433,824	1.364	12,124	38,346	97.8	882,797	128,456	195,916
2012(H24) 5	807,450	607,195	423,633	1.421	1,148	2,826	98.8	69,638	6,423	15,755
6	802,079	609,717	426,567	1.409	975	1,816	98.0	72,566	9,803	15,682
7	809,465	604,151	425,035	1.403	1,026	7,241	97.5	75,421	11,165	17,123
8	808,736	603,259	424,583	1.401	967	2,166	96.1	77,500	12,367	15,568
9	806,118	610,343	430,975	1.385	931	1,746	94.0	74,176	13,083	14,700
10	807,704	604,370	427,233	1.383	1,035	2,394	94.3	84,251	12,622	15,672
11	810,887	607,174	428,035	1.378	964	2,638	93.4	80,145	10,270	16,630
12	838,665	613,690	733,823	1.364	890	2,083	94.7	75,944	11,485	21,048
2013(H25) 1	838,266	611,606	432,055	1.358	934	2,246	94.1	69,289	7,119	16,872
2	823,430	614,768	434,083	1.346	916	1,720	94.9	68,969	10,543	14,239
3	828,371	631,290	441,471	1.325	929	1,591	95.0	71,456	18,573	16,598
4	831,109	630,769	436,249	1.321	899	6,860	95.9	77,894	6,370	15,508
5	832,813	632,194	436,493	1.319	1,045	1,733	97.7	79,751	9,682	15,889
6	828,305			1.303	897	3,837	94.7	83,704	14,637	16,385
7	834,873			1.296	1,025	1,996	P 97.7	84,459	13,038	P 17,124
前月比 %	0.8	0.2	0.1	-0.007% イト	14.3	-48.0	3.2	0.9	-10.9	-3.9
前年同月比%	3.1	4.1	3.0	-0.107% イト	-0.1	-72.4	1.6	12.0	16.8	-1.6
資料出所	日本銀行				東京商工リサーチ	経済産業省		国土交通省		経済産業省

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

公共工事請負額は推計方法を変更、公表値のみ掲載

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2010年 = 100	消費者 物価指数 2010年 = 100	景気動向 指数 (一致) 2010年 = 100	完全 失業率 (季節調整済) (%)	日経平均株価 (東証1部 225銘柄) (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月平均) (円 / US\$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年 = 100)
2007(H19)	4,400	101.1	100.7	-	3.9	15,307.78	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	105.7	102.1	-	4.0	8,859.56	163,798	1,030,647	103.39	147.854
2009(H21)	3,924	100.1	100.7	-	5.1	10,546.44	132,867	1,049,397	93.61	153.228
2010(H22)	4,212	100.0	100.0	-	5.1	10,228.92	171,706	1,096,185	87.75	168.232
2011(H23)	3,525	101.5	99.7	-	4.6	8,455.35	95,507	1,295,841	79.76	165.195
2012(H24)	4,572	100.6	99.7	-	4.3	11,138.66	47,036	1,267,299	79.79	169.679
2012(H24) 5	338	101.0	100.1	106.3	4.4	8,542.73	3,421	1,277,716	79.70	166.968
6	433	100.4	99.6	104.6	4.3	9,006.78	4,221	1,270,547	79.32	164.232
7	445	99.9	99.3	103.5	4.3	8,695.06	6,625	1,272,777	79.02	163.420
8	316	100.1	99.4	103.0	4.2	8,839.91	4,448	1,273,242	78.66	164.424
9	378	100.4	99.6	101.3	4.3	8,870.16	5,137	1,277,000	78.17	166.262
10	299	100.0	99.6	101.1	4.2	8,928.29	4,208	1,274,160	78.97	163.824
11	324	99.9	99.2	100.6	4.2	9,446.01	-1,796	1,270,848	80.87	166.279
12	284	100.3	99.3	102.3	4.3	10,395.18	-1,228	1,268,125	83.64	169.679
2013(H25) 1	332	100.5	99.3	102.5	4.2	11,138.66	-3,484	1,267,299	89.19	173.500
2	413	101.0	99.2	103.5	4.3	11,559.36	6,497	1,258,809	93.21	174.999
3	571	101.1	99.4	104.4	4.1	12,397.91	12,831	1,254,356	94.75	175.959
4	309	101.5	99.7	105.1	4.1	13,860.86	P 7,500	1,257,964	97.71	176.051
5	308	101.5	99.8	106.0	4.1	13,774.54	P 5,407	1,250,243	101.08	177.618
6	379	101.6	99.8	105.5	3.9	13,677.32	P 3,363	1,238,713	97.43	175.427
7	402	P 102.1	100.0	P 106.4	3.8	13,668.32	P 5,773	1,254,033	99.71	176.854
前月比 %	6.1	0.5	0.2	-0.9% イト	-0.1% イト	-0.1	-	1.2	2.3	0.8
前年同月比%	-9.7	2.2	0.7	-	-0.5% イト	57.2	-12.9	-1.5	26.2	8.2
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省	日本銀行		日経新聞社

日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産(負債額1千万円以上)		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-8,573	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2009(H21)	1,392,976	-6,286	-639	45,183	27,167	102	40,856	475,903	1,093
2010(H22)	1,380,834	-5,082	-1,062	45,718	26,717	79	28,409	462,688	705
2011(H23)	1,371,440	-3,465	-693	47,408	26,781	73	34,830	471,228	550
2012(H24)	1,361,053	-5,311	-1,264	47,633	26,780	57	52,781	491,157	391
2012(H24) 5	1,352,715	-34	111	47,023	26,218	5	843	50,572	119
6	1,352,007	34	-218	47,748	26,151	5	2,480	31,877	14
7	1,351,462	-46	-57	47,003	26,139	5	1,330	44,160	32
8	1,350,937	134	-122	47,199	26,190	6	37,514	40,194	18
9	1,350,523	-109	-43	47,615	26,322	3	2,828	32,511	14
10	1,349,968	82	-193	47,295	26,322	3	1,014	47,412	28
11	1,349,295	11	-149	47,153	26,181	3	1,395	39,966	18
12	1,348,616	-159	-515	47,802	26,244	4	492	33,046	15
2013(H25) 1	1,347,650	-121	325	46,961	26,088	2	5,605	47,690	17
2	1,346,535	-274	-134	47,085	26,168	3	286	39,290	48
3	1,345,439	-5,670	-108	47,633	26,780	3	103	33,957	19
4	1,338,972	762	-208	47,496	26,089	5	435	53,238	150
5	1,339,044	-229	34	47,116	26,379	6	529	38,215	73
6	1,338,181	-55	-236	P 48,018	P 26,179	5	573	29,714	34
7	1,337,580	6	-64			6	620	44,702	76
8	1,337,098					2	205		
前月比 %	-0.0	-	-	1.9	-0.8	-66.7	-66.9	50.4	124.9
前年同月比%	-1.0	-	-	0.6	0.1	-66.7	-99.5	1.2	140.5
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数  
 実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

日銀券の年次計数は年度累計  
 手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年 = 100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2007(H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.70	0.48
2008(H20)	107.3	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2009(H21)	88.1	5,356	3,002	2,084	566	189,665	63,816	0.53	0.29
2010(H22)	100.4	4,708	3,138	1,286	534	187,168	57,357	0.64	0.39
2011(H23)	97.1	4,890	3,051	1,581	518	182,648	54,547	0.75	0.46
2012(H24)	102.2	5,578	3,286	1,844	582	208,618	55,074	0.92	0.61
2012(H24) 5	105.7	485	303	154	51	9,908	1,598	0.88	0.60
6	103.7	612	372	213	66	14,104	4,564	0.86	0.60
7	97.7	541	355	115	60	21,531	6,653	0.88	0.59
8	105.2	474	336	120	53	25,262	7,651	0.91	0.60
9	98.4	630	439	164	71	26,697	11,988	0.90	0.61
10	98.4	636	320	266	61	14,771	5,331	0.88	0.61
11	99.0	458	287	136	49	9,899	2,676	0.88	0.61
12	98.9	461	225	205	43	7,490	1,807	0.90	0.62
2013(H25) 1	110.9	263	121	128	25	6,717	1,151	0.99	0.66
2	105.3	145	96	40	16	5,794	342	0.94	0.64
3	109.1	403	216	159	41	22,940	4,915	0.95	0.63
4	105.2	494	358	115	57	35,443	6,773	1.05	0.68
5	106.4	618	436	151	72	14,136	5,266	1.03	0.70
6	P 107.2	704	434	225	78	15,904	4,339	1.04	0.71
7		622	397	180	68	28,111	7,573	0.99	0.70
前月比 %	0.8	-11.6	-8.5	-20.0	-12.9	76.8	74.5	-0.05% ｲﾄ	-0.01% ｲﾄ
前年同月比%	2.6	15.0	11.8	56.5	12.3	30.6	13.8	0.11% ｲﾄ	0.11% ｲﾄ
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による  
 公共工事請負額の年次の欄は年度計数

求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2010年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 リッチャー調査 (現状判断DI)	おおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	100.0	286,305	-	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	102.4	291,752	-	17,926	-	-
2009(H21)	165,738	26,929	41,192	100.3	302,596	-	19,497	-	-
2010(H22)	170,306	29,949	42,970	100.0	270,767	-	14,886	-	-
2011(H23)	175,736	26,512	38,137	100.1	287,873	-	14,425	-	-
2012(H24)	181,246	33,496	49,397	99.3	274,133	-	13,071	-	-
2012(H24) 5	14,455	2,231	3,717	99.9	272,272	10,179	1,288	-	-
6	14,261	2,991	4,616	99.1	240,529	9,234	1,020	-	-
7	15,071	3,562	4,999	98.6	264,972	9,334	1,003	50.3	} -3.5
8	16,224	2,544	3,474	98.5	280,611	9,292	1,114	-	
9	13,859	2,875	4,022	98.8	286,719	7,896	838	-	
10	14,129	2,455	3,534	98.9	268,574	7,576	833	44.0	} -2.3
11	14,413	2,519	3,330	98.6	250,439	7,292	827	-	
12	18,913	1,660	2,403	98.7	293,191	7,675	813	-	
2013(H25) 1	15,224	2,023	3,273	99.1	270,339	13,852	2,193	48.8	} -9.7
2	13,084	2,434	3,988	99.1	260,705	9,557	1,217	-	
3	15,635	4,132	6,814	99.0	314,484	8,150	975	-	
4	14,242	2,561	3,892	99.1	314,286	8,333	986	57.8	} -15.9
5	14,542	2,153	3,422	99.1	288,421	9,647	1,213	-	
6	14,778	2,595	4,188	99.1	266,040	8,788	961	-	
7	P 14,852	3,205	4,662	99.3	264,852	9,255	1,036	51.5	
前月(期)比%	-	23.5	11.3	0.2	-0.4	5.3	7.8	-6.3ポイント	-6.2ポイント
前年同月(期)比%	-2.0	-10.0	-6.7	0.6	0.0	-0.8	3.3	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	39,184	144,333	166,315
2009(H21)	288,061	257	144	139,275	21,694	9,692	19,402	113,721	105,780
2010(H22)	297,566	261	168	119,470	23,405	9,244	24,003	151,688	118,867
2011(H23)	215,428	364	214	121,511	21,044	9,178	29,937	111,720	103,081
2012(H24)			164	112,395	18,670	6,785	29,059	107,146	122,288
2012(H24) 5	16,413	413	-	4,619	1,028	615	3,550	10,543	10,547
6	11,130	435	-	1,144	200	984	1,319	7,479	8,834
7	7,291	487	-	7,440	1,278	546	1,183	4,902	11,112
8	1,825	526	-	24,688	3,498	520	1,892	11,109	10,200
9	16,052	299	171	22,576	2,155	455	1,678	7,985	8,474
10	24,727	246	162	12,995	2,086	691	1,018	9,545	10,823
11	20,706	248	179	18,970	3,719	407	3,880	8,825	8,962
12	23,238	280	144	7,234	1,610	693	2,950	4,764	13,631
2013(H25) 1	30,572	258	140	2,355	580	528	5,264	13,994	12,039
2	33,124	246	134	3,328	657	533	2,804	11,083	14,127
3	34,915	237	127	2,658	613	525	4,541	6,801	10,979
4	33,756	239	155	1,033	371	620	4,214	14,112	12,785
5	23,523	277	-	2,331	445	950	2,072	10,173	11,157
6	17,874	300	-	2,746	385	707	2,057	5,533	11,616
7	11,639	306	-	4,083	877	571	0	16,446	13,080
前月比 %	-34.9	2.0	-	48.7	117.5	-19.2	-100.0	197.2	12.6
前年同月比%	59.6	-37.2	-	-45.1	-31.4	4.7	-100.0	235.5	17.7
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数



### 青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			バスポート 発行件数
	気温 (℃)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2012(H24)	10.5	1,295.5	1,669.1	18,765
2012(H24) 6	17.0	21.0	218.4	1,466
7	21.9	243.0	195.7	1,640
8	25.3	47.5	228.2	2,291
9	23.5	76.0	201.3	1,517
10	14.4	115.0	160.3	1,471
11	7.0	205.0	47.1	1,130
12	-0.5	100.5	41.3	1,287
2013(H25) 1	-2.4	127.0	49.3	1,546
2	-1.7	147.5	55.4	1,227
3	2.0	73.0	99.6	1,079
4	7.5	119.0	170.2	1,060
5	12.5	36.5	155.6	977
6	18.1	9.0	232.2	1,161
7	21.8	144.0	136.5	1,407
前月比 %	3.7	135.0ml	-95.7h	21.2
前年同月比 %	-0.1	-99.0ml	-59.2h	-14.2
資料出所	気象庁			外務省

### 県内主要都市・地区各種指標

年次及び期	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2011 (H23)			
1~3月	-20.7	-31.6	-33.3
4~6月	-10.3	-33.3	-30.4
7~9月	-12.0	-43.6	-15.3
10~12月	2.5	-25.0	-6.3
2012 (H24)			
1~3月	16.3	-8.8	6.9
4~6月	15.9	-5.7	15.3
7~9月	0.0	-21.1	5.3
10~12月	0.0	-17.1	5.6
2013 (H25)			
1~3月	-23.3	-5.3	-1.9
4~6月	-24.0	-23.1	-3.6
7~9月	-26.0	-10.3	3.6
資料出所	青森銀行BSI('13.7~9月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2012(H24) 6	296,154	181,524	235,405	714	345	616	174	65	165
7	296,070	181,400	235,401	954	351	840	163	66	119
8	296,053	181,262	235,562	646	303	495	117	86	94
9	295,957	181,241	235,609	661	354	673	137	115	176
10	295,683	181,275	235,562	622	273	532	116	112	159
11	295,562	181,210	235,621	622	315	500	97	69	134
12	295,361	181,150	235,585	410	233	339	83	79	137
2013(H25) 1	295,145	181,057	235,506	512	219	430	68	10	86
2	294,901	180,908	235,427	587	292	509	10	13	73
3	294,667	180,767	235,346	1,105	487	717	108	33	72
4	292,815	179,449	234,256	589	243	600	119	62	124
5	293,749	180,088	234,376	495	261	438	182	73	110
6	293,602	180,072	234,299	645	310	513	200	90	173
7	293,503	179,953	234,266	842	367	706	141	106	124
8	293,531	179,933	234,253						
前月比 %	0.0	-0.0	-0.0	30.5	18.4	37.6	-29.5	17.8	-28.3
前年同月比 %	-0.9	-0.7	-0.6	-11.7	4.6	-16.0	-13.5	60.6	4.2
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企 業 倒 産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森市	弘前市	八戸市	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2012(H24) 6	0.44	0.39	0.69	2	240	0	0	1	340
7	0.45	0.46	0.69	1	100	0	0	2	560
8	0.48	0.61	0.71	2	37,268	0	0	2	61
9	0.51	0.73	0.78	0	0	1	28	2	2,800
10	0.53	0.72	0.82	1	66	1	648	0	0
11	0.51	0.58	0.75	2	1,242	0	0	0	0
12	0.39	0.43	0.61	0	0	2	142	0	0
2013(H25) 1	0.38	0.34	0.57	0	0	0	0	2	5,605
2	0.51	0.40	0.65	1	10	1	76	0	0
3	0.55	0.47	0.72	1	58	1	20	0	0
4	0.51	0.44	0.69	2	98	0	0	0	0
5	0.51	0.43	0.68	3	222	1	92	0	0
6	0.54	0.48	0.70	1	90	0	0	2	440
7	0.59	0.48	0.75	2	200	1	200	1	30
8				0	0	0	0	1	120
前月比 %	0.05 ポイント	0.00 ポイント	0.05 ポイント	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	0.0	300.0
前年同月比 %	0.14 ポイント	0.02 ポイント	0.06 ポイント	-100.0	-100.0	-	-	-50.0	96.7
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

有効求人倍率は原数値による